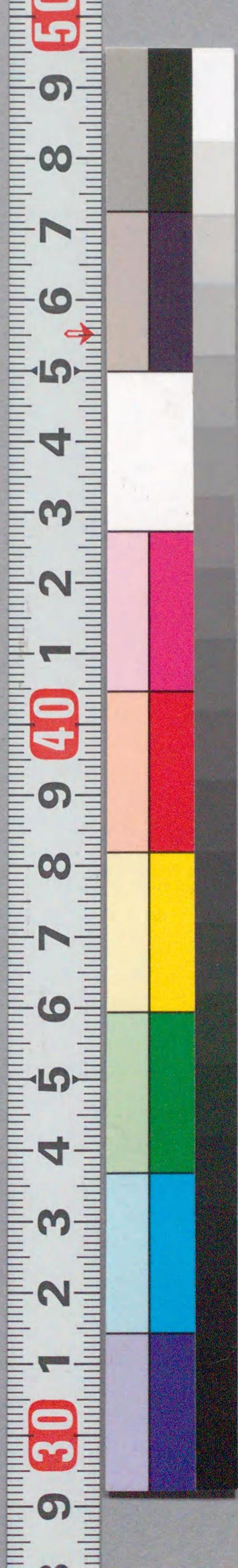


時代世話足利染

207
426

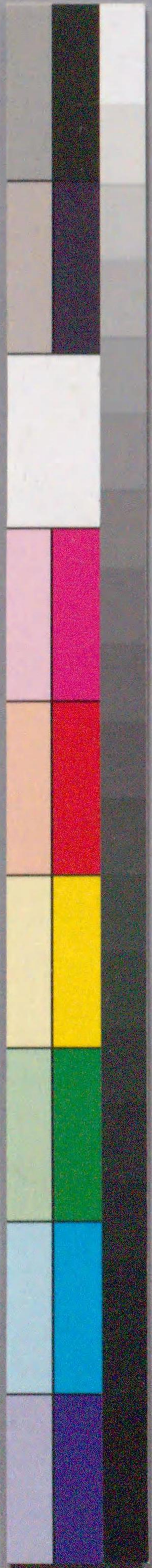


時代世話足利染

馬琴連

207
426

寛政十三年



<p>千秋万歳 寛政辛酉春 大叶 曲亭馬琴門人 抄書</p>	<p>又 大名人存者小も 痛くはらひま 此句評 太平記 粟津左門竹鏡 執筆</p>	<p>四 此句題 烟介話 姦婦藤浪蛇責詠州</p>	<p>三 此句讚 草履打 後室千代屋法樂短冊</p>	<p>貳 此句解 毒藥謀 望月源藏出世懷紙</p>	<p>一 此會誌 照鏡山 多賀高忠獸狩文臺</p>
--	---	---------------------------------------	--	---------------------------------------	---------------------------------------



ちやすしのぬ糸の
 せうけみちのふま
 せつふやうせん
 せんとせいのひ
 とらふくしん
 ひをかくのちや
 わるうせんらう
 おひつゝの画を
 とねとせし
 ちやせん入る
 千あのもち入
 そのののりて
 袖がくさう
 ひせんとも
 せんまひ
 りうどうて
 けま



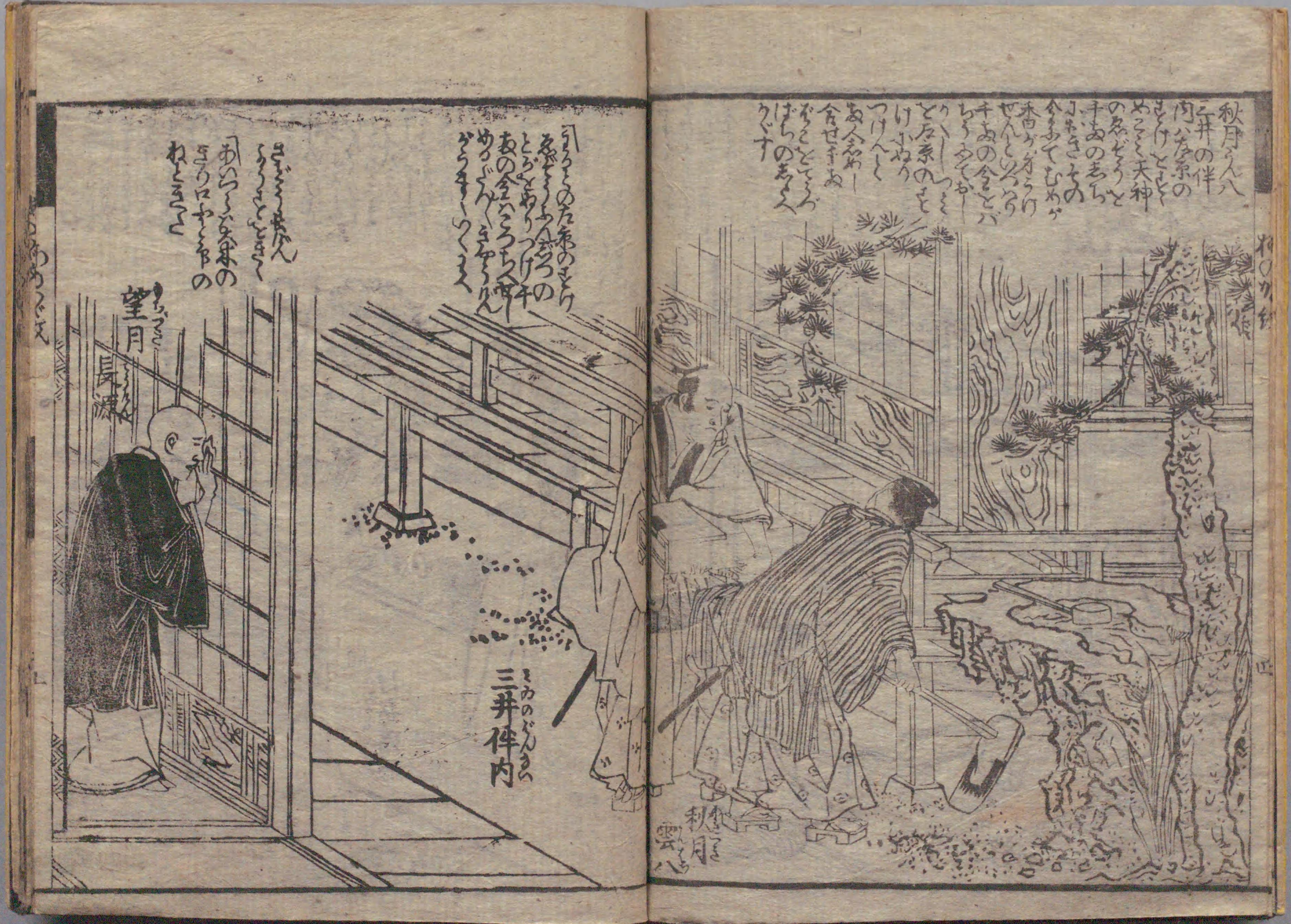
三井伴内

ろくに
 の心身
 多賀
 左京亮
 多賀
 左京亮
 多賀
 左京亮



千あのもち入
 せんとせいのひ
 とらふくしん
 ひをかくのちや
 わるうせんらう
 おひつゝの画を
 とねとせし
 ちやせん入る
 千あのもち入
 そのののりて
 袖がくさう
 ひせんとも
 せんまひ
 りうどうて
 けま





さきうきん
らうとてい
あいつらあまの
まのりやまの
ねとてい

望月
長瀬

引つきのたのみのまけ
あまのりやまの
とらとあつげ
あまのりやまの
めつとてい
がらうてい

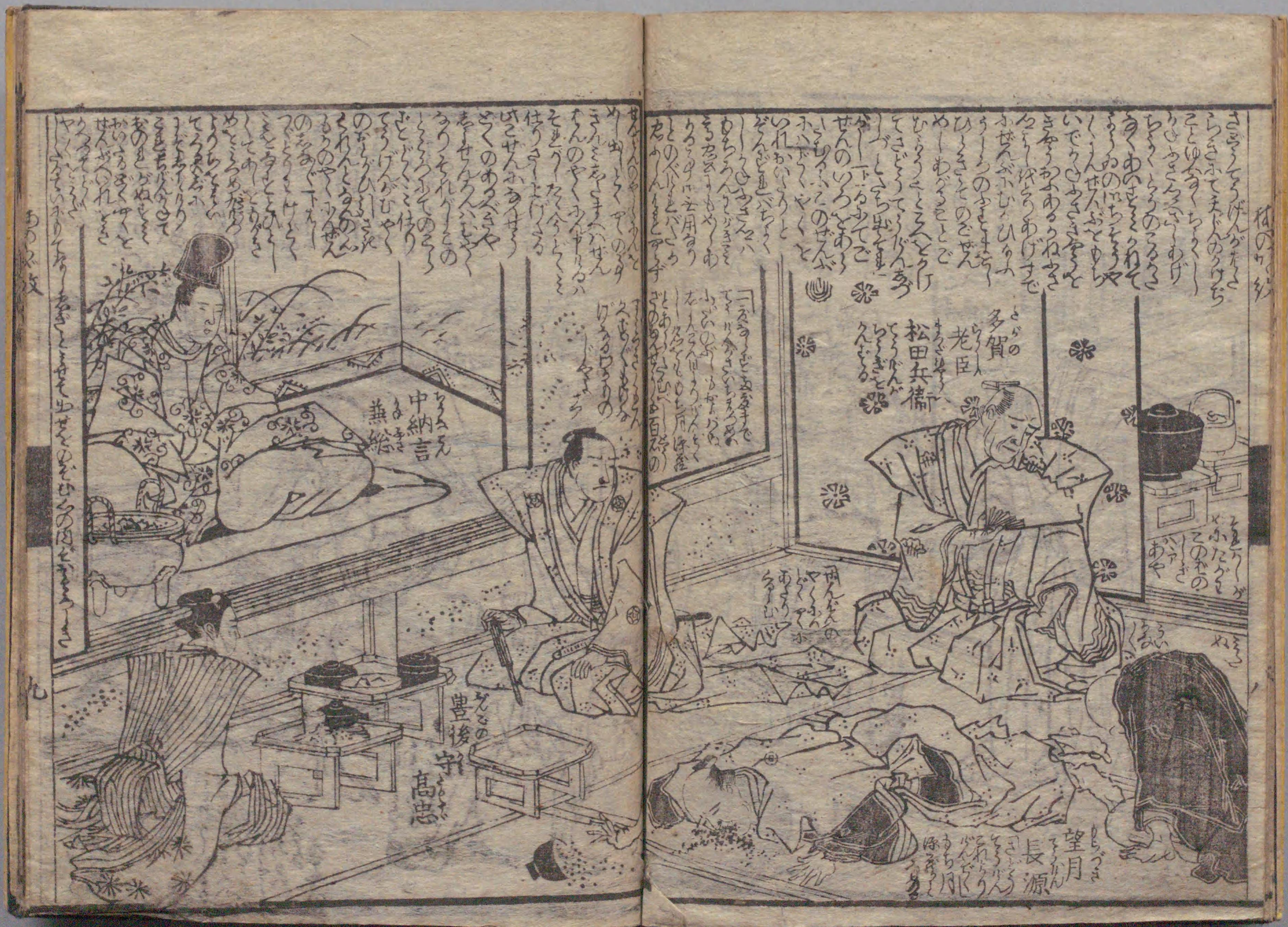
三井伴内

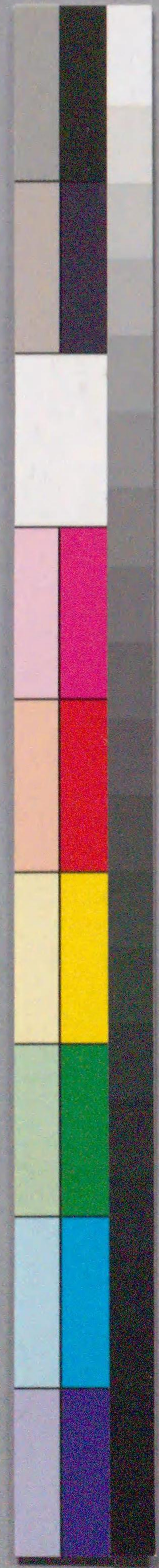
秋月八
三井の伴
内かまの
まけとてい
めつとてい
のあまのり
手あまのり
今あててい
木あまのり
せんあまのり
手あまのり
らうあまのり
とてい
つげとてい
あまのり
あまのり
あまのり
あまのり
あまのり
あまのり

秋月
雲八













おのへまのふちを
 岩や下つてつるれ
 そのまをうしろ
 むつておそい
 せむらうのそ
 牛んぐんぐん
 かんのはいこ
 うごまふい
 さのけを
 のろ下女のお
 とおとつひ
 そのわてあ
 ころ
 ころれ
 おろろ
 下巻と
 あり

尾上 屋女 初



おのへまのふちを
 岩や下つてつるれ
 そのまをうしろ
 むつておそい
 せむらうのそ
 牛んぐんぐん
 かんのはいこ
 うごまふい
 さのけを
 のろ下女のお
 とおとつひ
 そのわてあ
 ころ
 ころれ
 おろろ
 下巻と
 あり

おのえ
 尾上

前屋女









207
426

いしてのち月夜
さう作りのけい
ふかきつねに
のあく人のこころ
わらひさの蔵に
い入のまこと
午のちまわり柳
九君のむすひ人の
のちまをんかん
かのかくさるふ
とりたる左京の
まゆりの八佐枝
大いんのまうち
とさなりこのか
のしやうもさあり
かふそのやうのそ
ん栗津左門
松田多ま才先
尾のふのころま
それしあかんを
わり君臣よりこ
のまゆといしき
めでさるると
むくあ



曲亭門人 傀佛子御

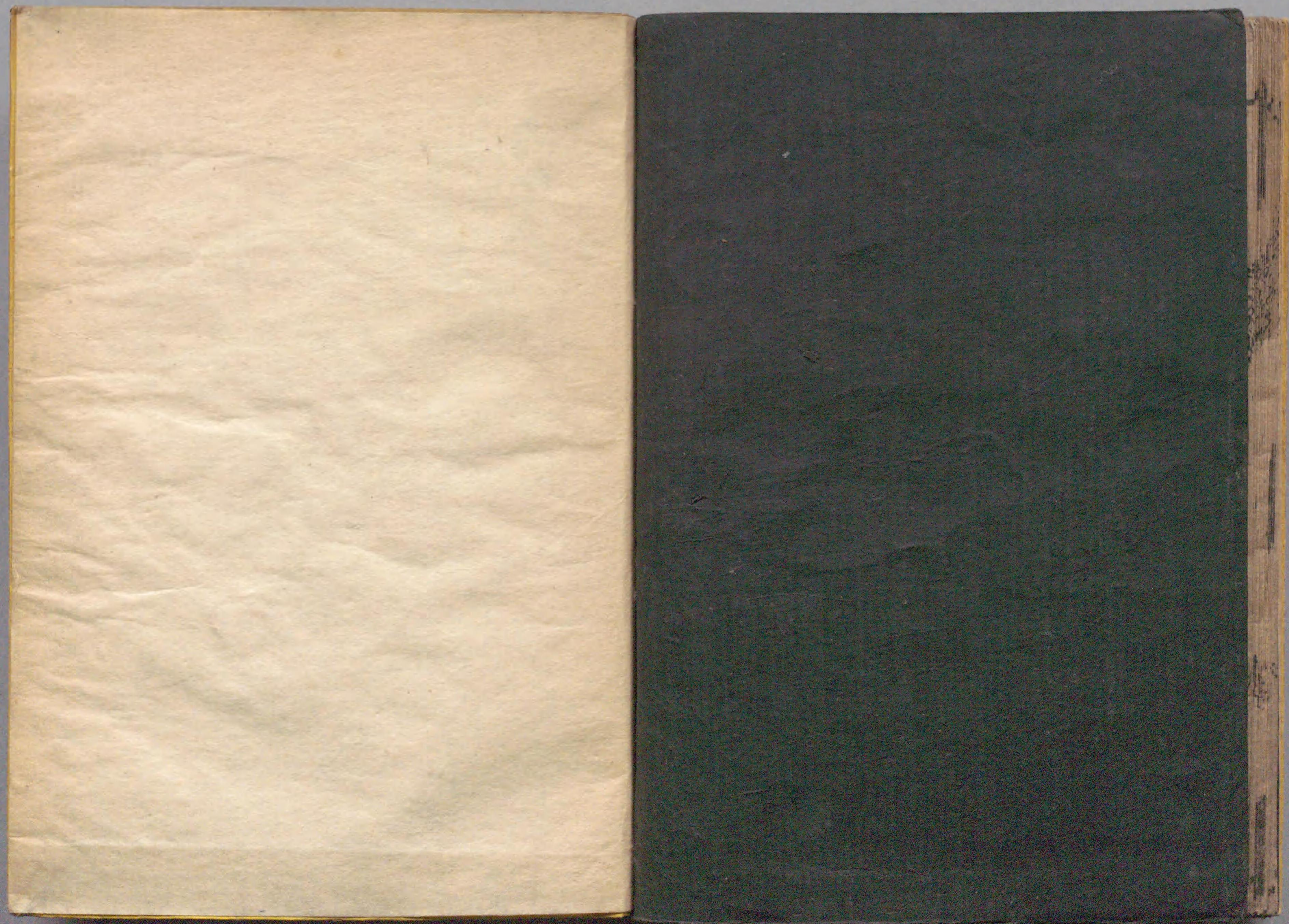
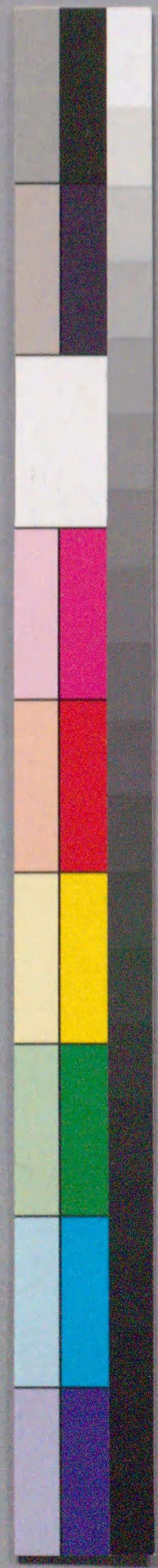
栗津左門

松田数馬

梅丸

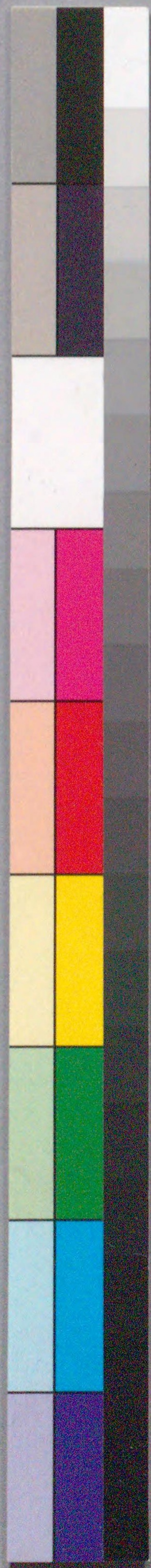
尾の上





国立国会図書館 時代世話足利染 : 5巻 207-426

ガラス使用



国立国会図書館 時代世話足利染 : 5巻 207-426



ガラス使用

